

子どもの居場所づくりに向けた 人材養成講座を開催

福祉関係者等31名が参加

ぬくもり通信

発行

八郎潟町社会福祉協議会
八郎潟町ボランティアセンター
TEL.875-3871 FAX.875-3872



秋田県社会福祉協議会（あきた子ども応援ネットワーク）主催、八郎潟町社会福祉協議会共催による「子どもの居場所づくりに向けた人材養成講座」が令和7年3月4日（火）にえきまえ交流館はちパルにて開催されました。

男鹿市のおてら食堂代表寺崎美紀氏と横手市のあさひこども食堂代表坂上喜也氏を講師に、子ども食堂を始めた背景や目的、運営していくうえで大切なことをご講話いただきました。

はじめに寺崎氏は、生活に困っている方だけでなく、子どもから高齢者までどなたでも参加できる憩いの場としたい。食べに来てくれる皆さま、寄付してくださる皆さま、ボランティアの皆さまへ感謝の気持ちを忘れずに続けていきたいとお話しされました。

つぎに坂上氏は、多世代が交流する「地域の居場所」を作りたい。地域の子どもたちを地域で見守り、育む、そ

んな地域の輪を広げていきたいとお話しされました。

質疑応答では参加者から、栄養バランスや会場の使用等についての質問がありました。

また、来年度から子ども食堂を定期的に開催することを企画している南秋つくし苑からは、「参加人数や材料の調整をどのように行っているか」という質問があり、寺崎氏は「初めは参加人数の予想ができなかったため、カレールイスを提供していた。」とそれぞれ回答していました。

当日は、ボランティア連絡協議会の会員、社協理事、地域福祉協力員、民生児童委員、南秋つくし苑、八郎潟町役場の方々31人参加し、子ども食堂は子どもだけでなく、親や地域住民の交流の場ともなっているなど、子ども食堂への理解を深める機会となりました。

令和6年度 夏季ボランティアを終えて

八郎瀧中学校の生徒が町内の施設や団体にてボランティア活動を行いました。中学生の感想を一部紹介します。
この他、八郎湖周辺にて清掃活動、はちパールにて一夜市のオープニング演奏も行いました。

グラウンドゴルフ場

ふれ合い交流

一年A組 北嶋 翔大

ぼくは、初めての夏ボランティアでした。最初は初めてだったのでグラウンドゴルフの球を思ったところに打つことができなかったけど、町民のみなさんが優しく教えてくれたので



えてくれたのですぐ上達することができました。だんだん慣れてきたときにホールインワンをきめました。すごく嬉しかったです。今回ぼくは、グラウンドゴルフを終えてすごく楽しめたし、町民のみなさんとも関わりを深めることができたと思います。もつと町民の色々な人と関わりを深めたいと思いました。

はちパール／八郎瀧駅

掃除・災害について

一年A組 小浜 柚子

始めに駅前の掃除をしました。みんなが見ていないところでもよごれている場所はきれいにしました。これからは、活動を通して掃除するのではなく、自ら落ちているごみを拾いたいと思います。次に災害についてお話を聞き学びました。これから南海トラフ地震などが起こる可能性が高く

いつ起きても正しい行動をとれるように、今回学んだことを活かして行動したいと思います。



八郎瀧町社会福祉協議会

まごころ弁当配達とお手紙作成

一年A組 遠藤 蒼士



お弁当を配達に行ったら優しい方が多くてほっとしました。そして、まごころ弁当は配達だけではなく、お話を

をしたり安全を確認したりすることも大切ということが分かりました。僕は夏ボランティアを通して体が不自由だったり事情のある人に接していくことの大切さが分かりました。

たいようこども園(たいよう)

おもちゃの消毒、草取り、園児とふれ合い

二年A組 菊地 美波



たいようこども園で、ボランティアをして思ったことは、消毒などを、先生たちがいつものようにやっているのがすごく大変だと思いました。砂場の草取りをして、夏も暑い中、外で仕事をするのがすごいと思いました。仕事が終わった後は、二才児の子たちと遊び、絵本を読んだりしました。

私の将来の夢は、保育士なのですが、夏ボラでたいようこども園に行つて、改めて、保育士になりたいと思ひました。

たいようこども園(おおぞら)

枝豆の収穫 園児とふれ合い

二年A組 鈴木さくら

私は今日の一日を通して、一人一人の考え方が違う時にどう行動したらいいかや、協力する大切さを学びました。枝豆を収穫する時には、小さい子たちと協力することができました。三歳児と遊ぶ時に「この本読んで」と色々な本を渡してきた時に、しっかりと対応できて良かったです。この一日で色々な体験をさせていただきありがとうございます。



あしらく

学習補助と運動

二年A組 岡 杏樹

利用者さんの学習補助や利用者さんの体力測定を体験しました。耳の聞こえにくい利用者さんなどにもうまく対応する事が少し難しかったですが、だんだんと慣れてきて楽しく体を動かすことができました。あしらくは、皆さんが助け合い、優しい言葉をかけ合うとても温かい空間でした。体を動かしてストレッチをすることで、脳も活性化していくのだそうです。なので私も毎日適度な運動を心がけていきたいなと思ひました。



八郎瀉小学校生徒のボランティア活動の紹介



6月に「緑の募金」、11月には「赤い羽根共同募金」を行いました。令和6年度は、緑の募金が11,320円、赤い羽根共同募金は11,460円集まり、昨年度を大きく上回りました。環境・ボランティア委員会の子どもたちの熱意が募金額につながりました。集まったお金は各団体に届けられ、緑化推進活動や、福祉活動を支えるための資金や災害時の備えとして活用されています。

また、校内美化活動として、円形花壇の管理やプラントーを使った花文字にも取り組んでいます。花文字の活動では、プラントーで作ってほしい文字を全校児童から募集し、「八小」や「叶」などの文字でテラスを華やかにしました。これからも、学校をより美しく心地よい場所にするため、全校児童で協力して活動していきたいと思ひます。



施設ボランティア




また、JAあきた湖東女性部より、うたせ苑、榮寿苑、もりやまへタオルを贈呈しました。タオルの贈呈式後は、施設利用者と交流を楽しみました。

コロナ禍で中止していた福祉施設でのボランティアの受け入れが、特別養護老人ホームうたせ苑で再開しました。5月から5回に渡り車椅子の清掃・点検が行われ、八郎潟町ボランティア連絡協議会の会員35名にご協力いただきました。



地域福祉マップの更新

地域福祉マップは、地域福祉課題の発見と地域の関係者間で情報を共有することを目的として、支援対象世帯及び活動者世帯を地図に明示します。地域の状況は日々変化していくため、随時更新をしていきます。



私たちも頑張っています

◆メンタルハート八郎潟 齊藤 志郎

私たちは、中央保健所のメンタルヘルスサポート研修（4日間）を受けた20名の会員で「自ら尊い命を絶つ方を無くそう」と活動しております。

その内容は、毎週水曜日、午前10時から約2時間、第一水曜日は「はちパル」、その他の水曜日は「ロマンの里」でサロンを開いて、お話っこ、脳トレ体操、歌っこ、ゲームなど、その他様々な相談もお受けしております。

活動紹介

◎声掛け健康確認
中央保健所作成の「はればれ通信」を会員が近所の皆さんに配布し、「声掛け」「元氣確認」を4半期毎に行っております。

◎出前サロン
交通事情などで足を運ぶことができない方のために、各地域に出向いて「出前」サロンを開催しております。

◎野外サロンの開催
7月の最終水曜日には、田んぼアート鑑賞後、塞ノ神公園で昼食を兼ねた野外サロンを開催しております。

◎芋煮会
10月には、会員の育てた「里芋」を持ち寄り芋煮会を皆さんで楽しんでおります。

◆その他、11月には紅葉狩り（昼食付）、12月はクリスマス会などを開催しております。



